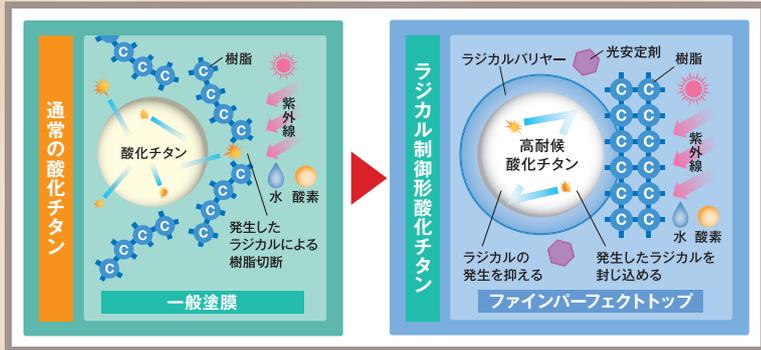


ニッペ ファインパーフェクトトップ®

● ラジカル制御技術

高耐候酸化チタンと光安定剤によるW効果で、耐候性を高める「ラジカル制御」技術により、紫外線に強い1液弱溶剤系シリコングレードを超える(当社従来品比)強靱な塗膜を形成し、塗りたての美しさを長期間保ちます。



● 高いレベリング性と美しいつや

粘性調整によりレベリング性(均一に平らになる力)を向上させ、美しいつやが得られます。パーフェクトシリーズの下塗りとの組み合わせにより、さらに美しいつやになります。



● 防藻・防かび機能

防藻・防かび機能で、いやな藻やかび菌の発生を抑制します。オプションで強力防かびを選択することも可能です。

● 低汚染性

親水化技術により、雨だれ汚染に対してすぐれた効果を発揮します。

● 作業性

転写強化剤により下地への付着性(転写性)が強く、塗った時の「グリップ感」「滑りにくさ」が得られます。粘性調整剤により肉厚感が得られ、「かぶり」が良くなります。



標準塗装仕様 (塗り替え)

■ 窯業サイディングボード面

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトサーフ	1	0.20~0.40	3時間以上	水道水	2~5	はけ、ウールローラー
上塗り	ニッペ ファインパーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上	塗料用シンナーA	5~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

■ 高意匠サイディングボード面

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペ ファインパーフェクトシーラー	1	0.05~0.08	4時間以上7日以内	—	—	はけ、ウールローラー、エアレススプレー
上塗り	ニッペ ファインパーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上	塗料用シンナーA	5~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

※下塗りのニッペ ファインパーフェクトシーラーは、窯業系サイディングボードの種類・表面の活性状態に付着性が左右されず、各種外壁材に対応可能です。

■ コンクリート、モルタル面

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地改修処理	下地改修処理が必要な場合は、下地調整結果に基づいて、塗装工事前に実施する。						
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパー、ウエスなどで素地を調整する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトファイラー	1	0.20~0.45 0.50~0.90	4時間以上	水道水	3~8 1~5 2~5	ウールローラー 砂骨ローラー タイルガン
上塗り	ニッペ ファインパーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上	塗料用シンナーA	5~13 3~8	ウールローラー エアレススプレー

■ 一般鉄部および金属サイディングボード面

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具や、サンドペーパー・研磨布などを用いて除去し、清掃する。						
下塗り	ニッペ パーフェクトプライマー	1	0.14~0.16 0.16~0.18	4時間以上7日以内	塗料用シンナーA	0~5	はけ、ウールローラー エアレススプレー
上塗り	ニッペ ファインパーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上	塗料用シンナーA	3~13 3~8	はけ、ウールローラー エアレススプレー

下塗り ※さび止めには当社エスパワンエース、当社ハイボン20デクロ、当社ニッペ1液ハイボンファインデクロ、当社速乾P2ヘルゴンエコ、当社ハイボンファインプライマーIIも使用できます。

■ 硬質塩ビ、FRP部

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
下地調整	ほこり、汚れを除去した後、サンドペーパーなどで目荒らしを行う。						
上塗り	ニッペ ファインパーフェクトトップ	2	0.11~0.17	3時間以上	塗料用シンナーA	3~13 3~8	はけ、ウールローラー エアレススプレー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。

ニッペ ファインパーフェクトトップ

色相

■白、淡彩色～濃彩色

■原色9色

ブラック・オーカー・インディアンレッド・シャニンブルー・ニュータフレッド・エコロエロー・シャングリーン・エコロオレンジ・バイオレット

つや調整範囲

■つや有り、7・5・3分つや有り

荷姿

■15kg、3kg

■施工上の要点及び注意事項(詳細な内容については、各製品の製品使用説明書にてご確認ください。)

1. つや調整品を使用する場合は上塗り1(中塗り)に「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
2. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高耐熱型外壁」、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですべて旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高耐熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なると、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
3. 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
4. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
5. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
6. 過剰希釈をすることで本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
7. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
8. つや調整品は、使用中に塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜よくはんしながらご使用ください。
9. 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌入材などから塗装してください。
10. 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れない場合があります。
11. 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートをお塗り剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
12. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者のご配慮をお願いいたします。
13. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
14. 異なる色相を塗り重ねる場合(例:1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを塗り替えてラインや帯などが変色(ブリード)によりする場合がありますのでご注意ください。
15. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
16. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
17. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、EEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
18. 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でバスター合わせを行ってください。
19. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
20. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラーをご使用ください。
21. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
22. やりかたが著しく付着している場合は、ウエスなどでやを水拭きして除去し被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止り効果が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗面を十分に乾燥させてから塗装してください。
23. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製OH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
24. 表面のこみ、ほこり、エプロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目隠し、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
25. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントファイラー、ニッペファイラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
26. 内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
27. 素材にセメント成分などが使われている場合は、エプロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。

28. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透性シーラー、ニッペファイン浸透性シーラーをお使いください。
29. 塗装直後から頻りに人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、油脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
30. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
31. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合は、塗装は避けてください。
32. 屋外の塗装で降雪、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
33. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
34. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
35. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペフリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
36. スチールドア枠回りなどシーリング材との接触が起こる部分への塗装は避けてください。可塑剤の移行などにより塗膜が軟化、はく離し、シーリング材の機能を損なう可能性があります。
37. 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
38. 薄めすぎは隠れ力不足、仕上がりに不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
39. 上塗りに冴えたいエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
40. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
41. 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所には使用しない場合は、ファインシリコンフレッシュクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラーおよび剛毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解やにじみが発生する場合には、スプレー塗装をしてください。
42. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
43. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌質が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
44. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
45. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
46. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
47. クロスの上への塗装は避けてください。
48. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
49. 可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
50. 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
51. 塗料内容物が均一になるようにかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かきはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかき混ぜてご使用ください。
52. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所に保存し、速やかに使い切ってください。
53. 容器は振り上げないでください。やむを得ず振り上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(荷荷重になると取ってが外れ、落下事故の危険があります。)
54. 塗料満溢の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
55. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

ニッペ ファインパーフェクトトップ

横倒禁止

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。
— 禁煙です。
- 容器を密閉してください。
- 容器および受器を接地してください。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- 火花を発生しない工具を使用してください。
- 粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面罩/保護衣を着用してください。
- 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。

- 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- 眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 皮膚や髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水シャワーで洗ってください。
- 皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- 取り扱った後、手を洗ってください。
- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- 直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用の場合は洗濯してください。
- 粉塵、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、医師の診察を受けてください。
- 暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。

- 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
 - 水を消火に使用しない。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂がある。
 - 容器がこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
 - 施設で子供の手が届かないところに保管してください。
 - 直射日光や水濡れは厳禁です。
 - 塗料等の缶の積み重ねは3段までとってください。
 - 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度に暴露しないでください。
 - 内容物/容器を廃棄する時には、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
 - 塗料、塗料容器、塗料具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- *上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
■詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報
   	引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●このカタログは再生紙を使用しています。

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<https://www.nipponpaint.co.jp/bizz/building.html>

カタログNo.

NP-T030

AA150610T
2015年6月作成

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
●©Copyright 2015 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.